2 3 年

谷岡副会長いかがでしょうか。

谷岡:明けま

しておめでとうございま

するにはいくつもの障壁がな

(性に響くものありました。 私

るようデザインした「現代

教養学環」を設

高校生に遡及

ことでもあります

これらを踏まえて、

//

しましたが、高校の先生の

また、

場から発言していただきましたね。

さまざまな問題について全国私立大学の立

なご指摘をしていただきました。 その後も

特別委員会」では、小原会長にも大変重要・小出:昨年の文科省「学校法人制度改革

昭和28年創刊

小出秀文氏(司会)

を創る

●進む高等学校「普通科」の教育改革 より良い教育

教育学術新聞東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館内編集兼発行人小出秀文TEL 03(3261)7048 FAX 03(3261)0769 每週水曜発行(第5水曜休刊)購読料 年4800円(税込) ⑥教育学術新聞 2023 www.shidaikyo.or.jp

氏、森朋子氏、小出秀展望=小原芳明氏、《

展望=小原芳明氏、谷岡一郎氏、大森昭生●新春座談会 予測困難な時代の高等教育の

〈もくじ〉

面~4面

●コロナ禍の経験を振り返り、

●私学関係者紙上名刺交換 · 8 面 〈 <u>6</u> 面

●年頭所感 日本私立大学協会会長・副会長

●玉川大学出版部刊行図書

·原芳明会長をはじめとする別掲の5氏による新春座談会を開催した。政府の「教育未来創造会議」第一次提言において提起されてい2023(令和5)年の新春を迎え、本紙では「予測困難な(VUCA)時代の高等教育の展望」をテーマに、日本私立大学協会の

る諸課題や昨年10月1日に施行された大学設置基準改正などを踏まえ、今後の私立大学の在り方、同協会の目指す方向性につ小原芳明会長をはじめとする別掲の5氏による新春座談会を開催した。政府の「教育未来創造会議」第一次提言において提起

が始まりました。 さて、2023年「新春座談会」です

(令和4年11月

21日実施)

題が出てきたというのが正直な見方です。して集まれないことに乗じて、古い政策課

が制定されて以来、たくさんの私学ができ振り返りますと、昭和25年に私立学校法

もありまし

てもらった。

小出:新年明けましておめでとうござい 私学の多様性で未来を拓く 創意工夫の新しい大学教育 は地方ほど強く表れるため、都市と地方の

化がますます進んでいます。これは教育関初めて80万人を下回るといわれ、少子高齢昨年は子どもの出生数が統計開始以来、代と言うにふさわしい激動の年でした。 らない要人暗殺が世間を驚かせました。ま安・エネルギー不足、さらにはあってはなアのウクライナ侵攻がはじまり、極端な円 待ったなしの状況で、まさに予測困難な時 た、毎年発生している水害など気候変動も ています。希望の1年にしたいものです。た。厳冬が去り春の兆しが訪れると言われ ら癸卯(みずのと・う)の新年を迎えまし 昨年は、引き続きコロナ禍に加え、 時は移り壬寅(みずのえ・とら) ロシ りますが、そのことへの対応・準備も重要 ス改革はいよいよ通常国会審議の段階にす われます。 な局面になっています。また、 高等教育政策に目を向けると、ガバナソ

昨年5月

校の位置付けが明治時代から変わらないとますと、特に日本の学校教育の中で私立学

これまでの私学の在り方を振り返ってみ

私は私学が持つ多様性 と

、発明品、競争、そ性こそが日本の多様

にと信じており

で、ムー可能性は十八

私学とそがな

も前に進みたいなと思っております。

良くするご努力の過程で、どのように

小出:ありがとうございました。

政策を講じてきたのです。

感じます。と申しますのは、

日本の私学は

ます。ですから国の発展には うしたものをもたらしてきな

くてはならないものなのです

「生かさず殺さず」「教育機関として正当

先生から、

いかがでしょうか。

小原:明けましておめでとうございま

(感想をお願い

します。それでは小原芳明

こすっています。でもそり私は私学人として持っています。でもそり私は私学人として持っています。その自負を、

でもそれ

に対して日本政府は常に国立大学に手厚い

象に残ったことや問題と思わ

れる点につ

忌憚のない話を伺いたいと考えています。

まずは2022年を振り返って、特に印

立大学を設置しました。その卒業生たちが

だ、ということで篤志家が私費を投じて私

ました。日本にはもっと高

等教育が必要

時代ではなくなりました。

社会に出て働き、高度成長を支え納税者と

も

先生方から、今後の私学振興問題に関して 学長の先生方にご参集いただいています。 が、各地域で活躍されている大学理事長や

代が到来するといえるでしょう。この影響 係者にとってますます予測不能な困難な時

育、文里独合りなデーな大学では、AI・デート つけられました。こうした中で、 文理融合の教育などの新しい取り組み

リーントランスフォーメーション(Gルトランスフォーメーション(DX)、グー次提言では、SDGsへの貢献、デジタ 地方の私立大学には大変厳しい政策が突き構築といった課題が提示されるとともに、 X)、リカレント教育、全世代学習社会 表の政府の「教育未来創造会議」による第 全国の私

ではない」、とい

う認識が国の基本姿勢で

われた30年では、コロナ禍も一つの要因ともに私学も大きくなってきた。ところが失 育の大衆化を見ると日本の経済の発展とと 痛感しました。 それともう それが昨年も続いていたということを -つ。いわゆる日本の大学教 コロナ禍も1つの要因と

して日本の経済が厳しくなってきた。

を持っています。例えば地方創生というとが低くなってくるのではないかという危惧 それに合わせて私学の占める社会的地位 地方進出を求められ、私学は出てい

から脱却を

私学は古い

森朋子氏(桐蔭横浜大学学長) 大森昭生氏(共愛学園前橋国際大学学長) 大商一郎氏(日本私立大学協会副会長・関西支部長、大阪商業小原芳明氏(日本私立大学協会会長、玉川大学理事長・学長)

大阪商業大学理事長・学長)

出

〈順不同〉

司会=小出秀文氏(日本私立大学協会常務理事・事務局長、教育学術新聞編集兼発行人)

どうガバナンスしていくのかを私学団体と ら今後の展望としては私学経営を具体的に におかしいという感覚は持ちます。ですか学全体が悪い」ように言われては、さすが

昨年度、着任したばかりで、本年もよろしくお願いいたしま ッシュな感想にはなってしまいます。 ころがあります。 その視点 森:明けましておめでとうございます。 ように大きな視点でものが見られないと での本当にフレ まだ先生方

前列左から谷岡氏、小原氏、森氏、後列左から小出氏、大森氏

社会は約束されていない。だからこそ、ことれからも、われわれにとっての明るい

れから自ら色々と頑張って切り拓いていく

らの課題だと考えています。

のではないですか。戦後70年以上経ちます

い部分を埋めなさい、という位置付けで

いまだに私立大学は国立大学ができな

そこからいかに脱却するのかがこれか

3年も決してバラ色の将来は展望できないそのように今までを振り返ると、202

撤退したらよろしいと言われる。

せて展開し、逆になったら、私学からまず えてくるのです。人口や経済の膨張に合わ 終わったから撤退したら」という声が聞こ

し、ここにきて、

「役割が

もそも私立大学は新しい道を切り拓いてきチャンスではないかとも感じています。そ

なければと強く思っています。

ASSOCIATION OF

を垣間見た1年だったということです。くの私学の学長・理事長の皆さんのご苦労 り回される印象があります。 ップが必要ですが、同時に政府の政策に振 感じます。特に経営に関して て見ていたときの見え方はや 本学では既存学部 学長として見たときと、教員とし を横断的に学べ ですので、 しはリ っぱり違うと 多

18歳時点で 生は決まらな

るためにどうすればよいのかを考えて、 めるのは当たり前だと思って て、設置者が理事会で決定し ね。ある関係者が何かを言い始めたら、す至るまでのプロセスが大変ぶれています れを実行していくシステムで いうのは、設置者が建学の理念を具現化す ぐそちらになびいてしまう。 決め方に問題があるとは思 それに対して、一部の不祥事を盾に「私 ガバナンス改革政策 います。も、 ガバナンスと 方向性を決 したがっ そ

らないというのは本当にそのとおりです。 を良くしても来年の受験生になかなか伝わ ネジメントや学修成果の可視化など、 おりだと思ったところです。 いこうという動きがあるわけですが、教育 、森先生のお話を聞いて本当にそのと今年もよろしくお願いいたします。 ドで教育の質をオープンにして 倪化など、色々

ば本学も「共愛さん最近元気い そこはもうくじけずにやるしかない。 未来の受験生にも絶対伝わらない 話は戻りますが、やっぱり各大学でも教育 ではなくて15年ぐらい教育改革に取り組ん 言われます。 さて、2022年を振り返ってみて大き 質を高める動きは、 いるのです。 ればなりませ 時間をかけて芽吹いてきました。 自分たちの感覚では「最近」 ずっと地下に眠っていたの 不断の努力として続 いよね」と のです。 例え

ことで、各大学は様 の距離が広がっていく危険性があるという だと思っています。しかし、今まで設置基のが、少しずつですが崩されたことは前進 だと思っています。岩盤だと思っていたも な出来事というと、 るようになる。 が見えてきました。 準に守られていた部分も相当にあったこと されたということで、これは画期的な動き 各大学は様々にチャレンジができ チャレンジに踏み出せない大学 同時に、 設置基準が緩和される 設置基準が大きく見直 チャレンジができ

次号は1月11日付です

資金運用は

無料 資金運用については何でもご相談ください 「どうやって運用していいかわからない」

《全国対応》

「運用対象が判断できない」 「運用規程の作り方」など ご相談·お問い合わせは公式HPまたは電話で

IFA 法人 MK3 株式会社 奥琴恩電話 03-6450-6295 圖光惠

MK3 法人向け

Q、検索」

大切です。その観点から、高校とも教育を識やスキルも大事ですが、資質能力がより築しなければならないのだろうと。専門知 では重要なお話だと思います。ありがとう 事な事柄です。私学教育を展開していく上ら高校生に響くか。これは私学経営には大 含めた様々な接続ができるだろうなという ら大きく成長してもらう教育力こそが重要 離があるということに気づかされた1年でだ」と思っていましたが、そこに大きな乖 と強く思っています。その意味において 大森:明けましておめでとうございま 教養教育の役割がより重要になると思 18歳時点の偏差値で一生が決まる そとは高等教育がしっかりと再構 [身が勉強しながら、今年も一歩では十分に感じております。 ですの 教育を良くしなかったらさらに 政府の審議会などで私 大学に入ってか 年を考える 大森先生 へつづく) 教育を

にお願いいたします。学の立場で数多く発言している、

ございます

それでは続いて、





